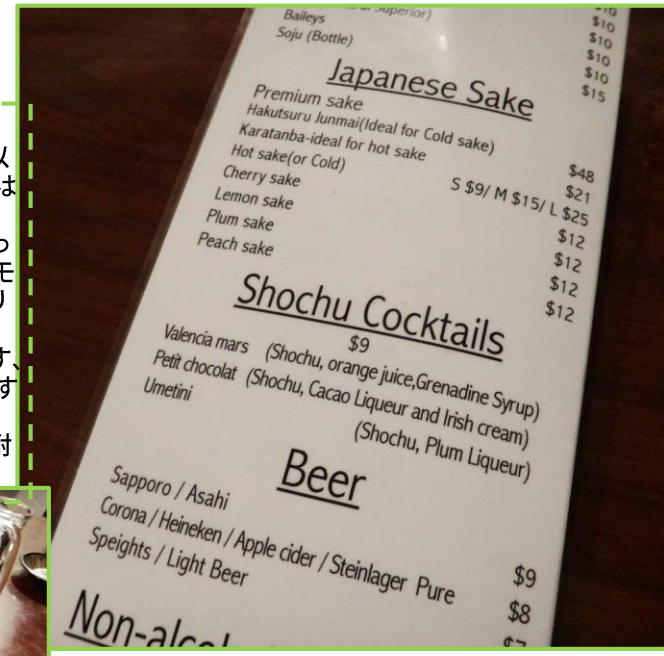




# SAKE watching in New Zealand 南島 2014

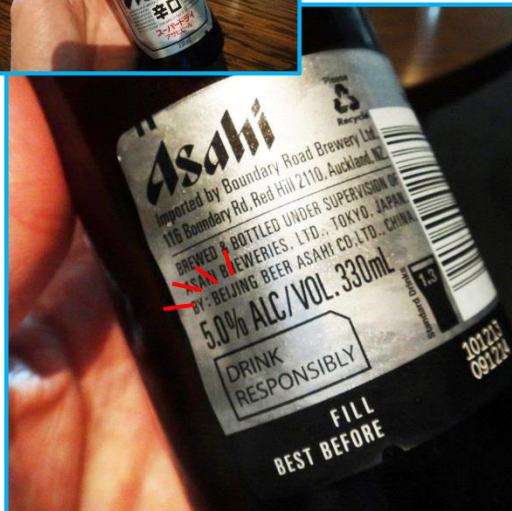
## Christchurch-①

- クライストチャーチの地震（2011年、日本人28人が死亡）をご記憶の方も多いでしょう。3年以上たっても中心市街地は被災建物や瓦礫が残り、交通規制される。被災して閉店した日本食の店は数軒あった。場所を変えて再開した店もあるが、閉店したままのものもあるよう。
- 宿から徒歩圏にある「エース・わさび」という店に入ってみました。鉄板焼きカウンターもあって繁盛している。Sakeメニューは「白鶴」「大関」「House Sake」の3種と、チェリーサケ、レモンサケなどサケカクテル4種。ハウスサケ Mサイズを頼むと、韓国風の急須と、ハングル文字入りグラスで出てきました。
- 聞けばお店の方は韓国人。ハウスサケは韓国製清酒かと思ってたずねると、大関を使っていますとのこと。日本料理のほか、スパイシーな韓国風おつまみも美味しかった。お客さんは当方以外すべて地元の人。韓国人経営か日本人経営か気にする（気付く）人は少ないでしょう。
- なお、メニューには焼酎単体はなく、バレンシアマルスとかプティショコラなんていう「焼酎カクテル」がある。ベースの焼酎は、甲類か、本格か、韓国ソジュかは聞き逃しました。



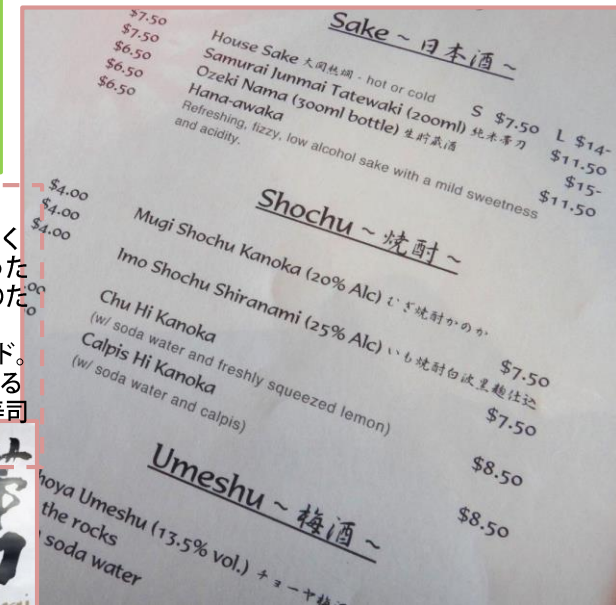
## Christchurch-②

- クライストチャーチの空港に日本ブランドでは唯一アサヒビールがあったので飲んでみました。
- 裏ラベルを見ると「Beijing Beer Asahi」、中国製でした。



## Wanaka

- ワナカ湖は日本人観光客は多くはないローカル観光地で、ごく小さな街並みだけけど、日本食レストラン「ささのき」があったので入りました。お店の方は日本人。地元の人やツアーのためのおじんまりしたお店。
- Sake4種類はすべて「大関」でした。「帯刀」も大関ブランド。
- なお、テカポ湖という有名観光地にも日本食レストランがあるのですが、こちらは日本人団体旅行対応の大型店舗で、丼や寿司の昼食を取れるようになっています。





Queenstown-①

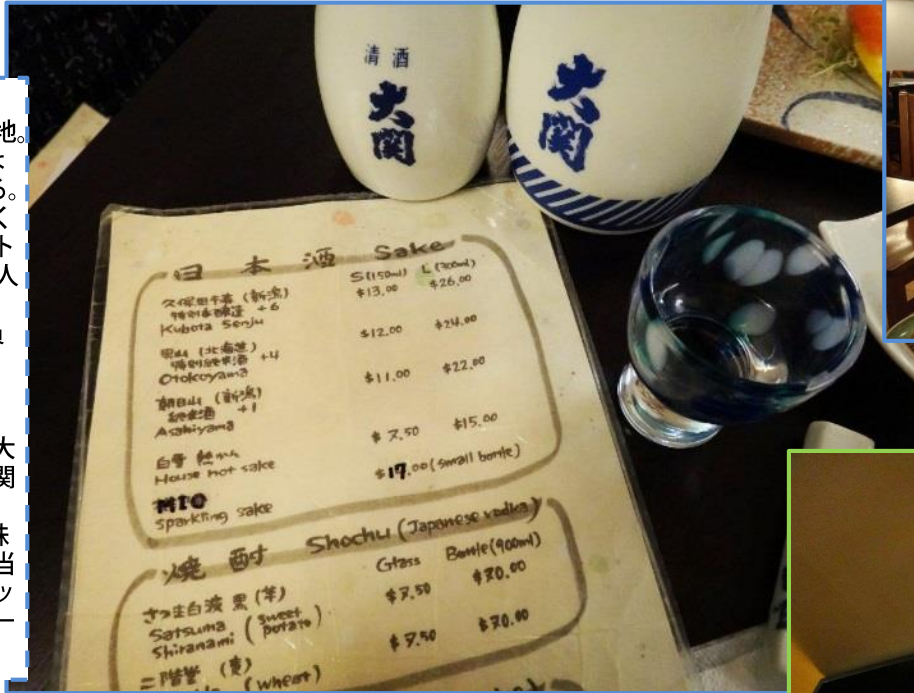
●クイーンズタウンはNZ南島の観光地。市街地人口が2万人以下という小さな街に、年間130万人もの観光客が来る。

●端から端まで徒歩15分くらいのごく小さな中心部繁華街に、日本食レストランが4件もあって、うち3軒は日本人経営。2軒をハシゴしました。

●1軒目は「カッパ」。スタッフ全員日本人のよう。

●サケ4種（朝日酒造、男山、白雪、松竹梅）、焼酎2種類（白波、二階堂）と、銘柄数は多くない。なお、大関の徳利だけれど、メニューには大関がない。

●てんぷらや刺身で「朝日山」を美味しくいただきました。この日の夜の夕方以外のお客はすべて地元の人、カップルや子供連れ家族でしたが、各テーブルともサケをのんでいました。



Queenstown-②

●2軒目の「ダルマ」もスタッフ全員日本人。より居酒屋に近い感覚。この日の客は、日本人と地元の人が半々でした。

●この店はサケ、焼酎とも銘柄豊富。一升壺から入れてくれるのがいい雰囲気。「真澄」「一ノ蔵」「大関」などを美味しくいただきました。なお、お酒はクライストチャーチからデリバリーされるとのこと。

